戰史資料

獨立混成第五十七旅團司令部（メナド）
調製官 旅團長代理陸軍大佐 田村多郎

公文書館
21.5.31
受附

2/5

0712

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

一、編成裝備關係

1、自己部隊及關係部隊ノ編成人員兵器彈藥

2、職員表

3、人員兵器等ノ增減關係

4、台湾人　朝鮮人　現地住民使役ノ關係

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

自己部隊及關係部隊ノ編成人員表

昭和二十年十二月十五日調製
獨立混成第五十七旅團司令部

区分	部隊名	人員					計
		將校	准士官下士官	兵	軍屬	台勤	
隷下部隊	獨立混成第五十七旅團司令部	24	66	149	3		242
	獨立混成第五十七旅團(兵司令部 経理部)	4	15	23			42
	獨立混成第五十七旅團(自司令部 財務部)	3	9	25			37
	獨立混成第五十七旅團(司令部 貨物廠)	14	21	50	123 ~~123~~		208
	獨立混成第五十七旅團(司令部 防空隊)	3	14	52			67
	獨立混成第五十七旅團通信隊	4	22	91			117
	獨立歩兵第三七二大隊	24	108	334			466
	獨立歩兵第三七三大隊	37	141	673	53	29	938
	獨立歩兵第三七三大隊	29	98	348			475
	旧獨立守備第二十二大隊(田村部隊)	19	100	283			402
	獨立混成第五十七旅團(司令部 臨時工兵隊)	2	6	24	3	669	704
指揮下部隊	獨立方線一〇〇中隊	2	24	42			68
	南方軍第四通信隊 ハモホン派遣隊	3	24	59	15		101
	獨立無線八十六小隊	1	15	25			41
	第三八二野戰輸送隊	1	4	7	2		14
	第二野戰要塞隊 ユレベス北口隊	1	14	12	1		28
	獨立自動車第二九〇中隊	4	16	66			86
	第一軍特設第二機関砲隊	1	14	69			84
	第二十二師團ノ一部(本場部隊)	39	261	725			1025
	第一二〇兵站病院	18	22	50	1		91
	第二十九飛行場大隊	34	228	593	2		857
	第八警備隊	34	740	69	171		1014
總計		301	2017	3769	374	698	7159

0714

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

兵器弾薬ノ状況

品目＼時期	編成当初（ミナハサ）	サンギエ	タラウド	南部セレベス撃ノ転進部隊	摘要
制式小銃	一、二〇三	一六〇	三一七	㊥三〇六	
押収小銃	一、三七五	一一〇	〇	㊦四四七	
軽機	大九	一二	四二	二二	
重機	三一	六	一二	七	
重擲	四九	六	一八	一八	
銃剣	四、一二七	三四〇	九九〇	㊥九八〇	
軍刀（部隊携帯）	一六二	一四	三二	四三	
拳銃	—	—	—	—	不明ニ付省略
実包 小銃	一五金戟分				一金戟分ノ基準
実包 軽機	一〇〃				三〇〇發 其他 四〇
実包 重機	一箇七〇發	〇、四金戟分			LG 八〇〇發 水総 九〇〇發
実包 重擲	一箇				MG 三三〇〇發 曲射八〇〇發
実包 押収	一銃一三〇發		上 〇、五金戟分 銃宛 同	一銃宛 〇、五金戟分	MW 二五〇發 HH 一五〇發
自二〇動砲	四				
三七粍対戦車砲	七（三）		二	一	
四七粍戦車砲	五	二		二	
九九式歩兵砲	四	二			
曲射歩兵砲	八			四	
九七式軽迫	二			〇	
九九式迫	六			六	
十九式榴	一			〇	
四一式山砲	〇	二	一	〇	
三八式野砲	〇		一	〇	
九六式機砲	四			一	
八八式高射砲	八			〇	
砲弾薬	義五五〇発 義一七〇〇発 義一〇〇会	平均 〇、五会	平均 〇、五会	一門宛 〇、五会	
備考	兵器廠在庫ノ火砲ヲ含マズ 又臨時召集ニヨル増加装備ハ編成當初ノ項ニ示ス				

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

独立混成第五十二旅團司令部將校職員表

職	役	種	官	氏	名	摘	要
旅團長	現役	少將	遠藤新一			モロタイ出頭	
參謀	同	中佐	甲村武雄			同	
部附	特志	少佐	廣瀬富雄				
高級副官	現役	同	末益大二				
部附	同	同	橋本年春				
同	特志	同	斉藤操				
同	同	同	久保進				
同	予備役	大尉	吉田武雄				
同	同	同	市橋宗				
專屬副官	同	中尉	島田稔				
部附	同	同	青山榮二				
同	同	技中尉	大場文雄				
同	同	同	菅野五郎				
同	同	大主尉	稻垣昌夫				
同	同	同	川村忠雄				
同	同	中主尉	奥村龍雄				
同	同	同	坂戸正夫				
同	同	少尉	丸山九十九				
同	同	同	茂木信次				
同	同	同	本明武彦				
同	同	少軍佐	上田禮三				
同	同	大軍尉	弓場兎				
同	同	中軍尉	斉藤兎				
同	同	衛見	近藤高男				

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

独立混成第五十七旅團兵器廠將校職員表

職	役種	官氏名	摘要
廠長	予備役大尉	茶谷薫	
廠附	同	中尉 鈴木顯一	
同	同	同 望月貢	
同	同	同 八谷龍男	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

独立混成第五十七旅團自動車廠將校職員表

職役種官氏名摘要			
廠長	予備役中尉	牛島弥三郎	
廠附	同	加藤信太郎	
同	同	長根磐男	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

独立混成第五十七旅團貨物廠將校職員表

職	役種	官氏名摘要
廠長	現役	少佐 山崎信吾
廠附	予備役	大尉 小里七郎
同	同	中尉 國武勝利
同	同	中尉 北岡又一郎
同	同	中獸醫 浅見忠文
同	同	中軍醫 田尻榮市
同	同	中尉 梅原忠夫
同	同	中尉 井上幸次郎
同	同	中藥劑 長尾茂
同	同	中尉 筒井和夫
同	同	同 久住呂仰
同	同	同 笠福太郎
同	同	同 吉村良作
同	同	少尉 鈴木勉

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

桂防空隊將校職員表

職	役種	官	氏名	摘要
隊長	予備役	大尉	横井耕一郎	
隊附	同	中尉	齋藤三郎	
同	同	少尉	貞永性一	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

独立混成第五十七旅團通信隊將校職員表

職	役	種	官	氏	名	摘	要
隊長	予備役		大尉	田村一男			
隊附	同		中尉	安本勇			
同	同		同	樋口長雄			
同	同		同	村井喜代二			

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨立歩兵第三百七十二大隊將校職員表

職	役種	官	氏名	摘要
大隊長	現役	少佐	相良廣遠	
副官	予備役	中尉	野村幸男	
本部附	同	同	安福彦七	
同	現役	同	吉田勝行	
同	予備役	同	長澤正盛	
同	同	少尉	西村義正	第一船ニテ内地歸還
同	現役	同	串崎豊	入院中
同	予備役	主計大尉	豊住康雄	
同	同	軍醫中尉	平松眞波	
同	同	軍醫少尉	杉田政吉	
小隊長	同	少尉	齋藤保	
第一中隊長	同	大尉	石上種樹	
小隊長	現役	中尉	古田高臣	
同	予備役	同	杉山益男	
同	同	同	淺田藤三郎	
同	同	少尉	佐々木恒之助	
第三中隊長	同	大尉	井上虎之助	
小隊長	同	中尉	石川與三平	
同	同	同	山本嶺義	
同	同	少尉	松本肇	
銃砲隊長	同	大尉	谷正幸	
小隊長	同	中尉	八木八十一	
同	同	同	津村秀夫	
同	同	同	三原虎男	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨立歩兵第三七三大隊將校職員表

昭和二年十二月二五日調

職	役種	官氏	名	摘要
大隊長	現	少佐 中村武次		
副官	豫	中尉 水谷七郎		
附	豫	大尉 中村武夫		
附	豫	大尉 田淵英市		
附	豫	大尉 池田貞一		
附	豫	中尉 五藤甚之助		
主計	豫	中尉 齋藤忠雄		
同	豫	少尉 中村宏		
軍醫	豫	大尉 吉崎敬一		
同	短現	中尉 德廣元勲		
同	豫	少尉 杉原玄明		
第一中隊長	豫	大尉 川崎正道		
第一小隊長	特志	中尉 瀬尾周三		
第二小隊長	豫	少尉 山根敏夫		
第二中隊長	特志	大尉 堀田赳		
第一小隊長	豫	中尉 重光康男		
第二小隊長	豫	中尉 田中豊		
第三小隊長	豫	中尉 石田芳秋		
第三中隊長	豫	大尉 上田潤		
第一小隊長	豫	中尉 小川信久		
第二小隊長	豫	中尉 吉田定		
第三小隊長	豫	少尉 内山義輝		
第四小隊長	豫	中尉 若尾温		
第中隊長	豫	大尉 平野秀男		
第一小隊長	豫	中尉 井上晃		

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

第二小隊長	豫	中尉	三川儀春
第三小隊長	豫	中尉	下飼手白夫
第四小隊長	豫	中尉	長澤正義
第五中隊長	豫	中尉	井田義雄
第一小隊長	豫	中尉	土井正民
第二小隊長	豫	少尉	鳥越重信
銃砲隊中隊長	豫	大尉	竹内正巌
第一小隊長	豫	中尉	江口良夫
第二小隊長	豫	少尉	本庄三郎
第三小隊長	現	中尉	柄野政太郎
第四小隊長、	豫	中尉	山本隆夫

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨五歩兵三七五大隊將校職員表

職	役種	官	氏名	摘要
大隊長	現役	少佐	岩本貞	
附	同	中尉	岡本道人	
第一中隊長	予備役	大尉	星井茂信	
第二中隊長	同	同	尾島義雄	
第三中隊長	同	同	田上萬作	
附	同	同	長井健司	
副官	同	同	湯田丁巳男	
附	同	同	石田帝介	
同	同	中尉	大井半造	
銃砲隊長	同	同	武田博	
附	同	同	行元武	
附	同	同	羊田幸郎	
同	同	同	岡崎英愼	
同	同	同	佐藤捨録	
同	同	同	橘高博通	
同	同	同	佐野喜彦	
同	同	同	小山威義	
同	同	同	福村廣一	
同	同	少尉	萬野耕作	
同	同	同	岡本智一	
同	同	同	福井英次郎	
同	同	同	小島靜雄	
同	同	同	磯端忠義	
同	同	同	滝克利	
同	同	同	野坂誠	
同	同	軍曹	佐方眞三	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

職	役	官	氏名	摘要
銃砲隊附	予備役	少尉	眞野晃	
同	同	少尉	福岡良男	
同	同	同	杉山吉克	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨立守備歩兵第二十二大隊將校職員表

職	役種	官	氏名	摘要
大隊長	現役	大佐	田村多郎	
副官	予備役	大尉	田邊百一	
附	同	同	小林定吉	
同	同	同	榊重光	
同	同	中尉	髙木甫	
同	同	同	多和健雄	モロタイ
同	同	少尉	本明武彦	
同	同	少尉	野田友之助	モロタイ
第二中隊長	現役	大尉	數島純雄	
附	予備役	少尉	伊藤文三	
第一小隊長	同	中尉	宮秋俊英	
第二小隊長	同	同	戸梶進	
第三小隊長	同	同	徳田元	
第四小隊長	同	同	津村久壽男	モロタイ
第三中隊長	現役	大尉	滝田英作	
第一小隊長	予備役	中尉	矢萩吉郎	
第二小隊長	同	同	英静雄	
第三小隊長	同	同	中尾實	
第四小隊長	同	同	伊藤雅義	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨立混成第五十七旅團工兵隊將校職員表

職	役職	官	氏名	摘要
隊長	予備役	大尉	金田保美	
附	同	中尉	平野敏	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

南方軍第四通信隊「トモホン」派遣隊　將校職員表

職	役種官	氏名	摘要
隊長	予備役中尉	木原肇	
附	同	北原秀雄	
附	同	西谷幸三	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨立有線第一〇〇中隊將校職員表

職	役	官	氏	名	摘	要
隊長	予備役	大尉	鈴木	達		
附	同	中尉	武田	春樹		

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨立無線第六小隊將校職員表

職	役種	官	氏名	摘要
隊長	予備役	中尉	岩舘新一	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

第三八三野戰郵便所將校職員表

職	役	種	官	氏	名	摘	要
所長	予備役		中尉	二田原秋三郎			

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

第五野戰養成隊セレベス地區隊

職	役種	官	氏名	摘要
地區隊長	予備役	陸軍中尉	関口藤吉	死亡 昭和二十年二月六日

0733

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

独立自動車二九口中隊將校職員表

職	役種	官	氏名	摘要
中隊長	予備役	大尉	西田喜一	
第一小隊長	同	同	中村種吉	
第二小隊長	同	中尉	高比良春一	
中隊附	同	軍曹	入江充	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

第二軍特設第五機関砲隊將校職員表

職	役	種	官	氏	名	摘	要
隊	長	予備役	中尉	矢	崎	豊	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

第百五十兵站病院將校職員表

職	役種	官	氏名	摘要
病院長	現役	陸軍大佐	田島寛	
附	予備役	陸軍大尉	小峯健	
同	同	同	小野光仁	
同	同	同	中川中	
同	同	同	鈴木昇	
同	同	陸軍大尉	有吉明	
同	同	陸軍中尉	山田章次	
同	同	同	長佐古精一	
同	現役	陸軍中尉	小畑忠顯	
同	予備役	陸軍中尉	藤野和夫	
同	同	同	村木邦雄	
同	同	陸軍少尉	田畑富士雄	
同	同	陸軍少尉	樋口壽	
同	同	同	梅谷秀雄	
同	同	同	五井謙蔵	
同	同	同	田中大平	
同	同	同	田代新次	
同	同	同	宮本保	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

木場部隊將校職員表

職	役種	官	氏名	摘要
第三十二師團衛生隊長	現役	大佐	木場茂	モロタイ
副官	予備役	大尉	高橋浦太郎	同
附	同	中尉	矢島博	
醫長	同	少將	佐藤重雄	
附	同	同	原島久宣	
同	同	同	川俣順一	
同	同	薬剤中尉	角田豊	
同	同	少將	宍倉安衛	
特設第三十一聯隊第二大隊長	現役	少佐	田村俊夫	モロタイ
副官	予備役	大尉	藤野芳郎	同
附	同	中尉	野村浩一	同
同	同	主計大尉	中川五郎	
同	現役	少將	宇都宮清	モロタイ
同	予備役	中將	木村光博	
第五中隊長	同	中尉	松崎岳	モロタイ
附	同	同	加藤眞佐彦	
同	同	同	鈴木賢司	
第六中隊長	同	同	田中清藏	モロタイ
附	同	同	原田高一	
同	同	同	奥山益朗	
同	同	同	館野長雄	
第七中隊長	現役	大尉	金澤義一	
附	予備役	中尉	木村三郎	モロタイ
同	同	同	五艘進	
第八中隊長	現役	大尉	岩佐時雄	モロタイ
附	予備役	中尉	朝岡敏	同

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

歩兵第二百十聯隊第八中隊附	予備役	中尉	西畑修作	
第二機関銃中隊長	同	大尉	三角敬明	モロタイ
附	同	中尉	田中康弘	
同	同	同	竹中萬藏	
同	同	同	関口衛	
第二歩兵砲小隊長	同	同	矢部眞博	モロタイ
迫射砲中隊附	同	同	鍋島直美	
野砲兵第三十二聯隊第一中隊長	同	大尉	角田重忠	
附	同	中尉	青柳卓樹	
同	同	同	兒玉勇雄	
第三師團衛生隊第一中隊長	同	同	島崎良雄	
附	同	同	中村眞巳	
第二中隊長	同	同	中西義郎	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

第百十九飛行場大隊將校職員表

職	役種	官氏名	摘要
大隊長	現役	少佐 原武四郎	
副官	予備役	大尉 國生才藏	
附	同	大尉 増田進一	
同	同	同 各務吉三	
同	同	少尉 阿北留慶一	
同	同	中尉 岡田信一	
同	同	同 尾崎清一郎	
同	同	同 野中眞彦	
同	同	同 今井正明	
同	同	中尉 高田豊	
同	同	少尉 土屋盛男	
同	同	同 西山善雄	
同	同	見習士官 伊澤利雄	
第一中隊長	同	大尉 吉川武次郎	
附	同	中尉 牛嶋忠良	
同	同	同 野中勇	
同	同	同 柏木廣二	
同	同	少尉 森國健男	
第二中隊長	現役	大尉 西弘	
附	予備役	中尉 垣内勝美	
同	同	同 深作哲太郎	
同	同	同 浮矢堯倪	
補給中隊長	同	大尉 鈴木茂内	
附	同	中尉 松島重男	
同	同	同 今井敏男	
警備中隊長	同	大尉 柴田富太郎	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

警備中隊附	予備役	中尉	柏倉他介
同	同	同	波多野英二郎
同	同	少尉	細谷英士
同	同	同	本田濟
第四十六対空無線中隊長	同	大尉	宮崎忠孝
附	同	中尉	荒井貞三
同	同	同	小川雅之
同	同	同	戸田代勇

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

3、人員 兵器等ノ増減関係

〃 自己部隊及関係部隊ノ編成人員表ノ外ニ、二十年五月十二日左記部隊約二千名南部ニセベズニ前進スルノ外 増減関係ナシ

左記

独立歩兵第三七七大隊

独立歩兵第三七二大隊ノ一中隊

第二方面軍特設第六機関砲隊

独立守備歩兵第二十二大隊ノ二中隊

独立有線第一〇〇中隊ノ一小隊

独立自動車第二九〇中隊ノ一小隊

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

4、台湾人・朝鮮人　現地住民使役ノ関係

(1) 台湾人ハ台湾勤労團トシテ六九八名其ノ他海軍一般商社関係ニテ二名計七〇〇名アリ

台湾勤労團ハ工兵大尉ヲ長トスル部隊ヲ編成シ防空壕ノ構築各補給廠ノ勤務人員トシテ使用セリ

給養ハ一般兵ト同一ニシテ差異ヲ設ケズ終戦集結後彼等ハ福建省廣東省ノ民族的闘争ハ頃ニ激化シ紛争ノ絶間ナカリキ

(2) 朝鮮人

朝鮮人ハ軍人トシテ一〇名軍属トシテ七名邦人トシテ六名計二三名アリタルモ台湾人ニ比シ軍紀其他モ極メテ厳ニシテ一般軍人ト共ニ起居ヲ共ニ実施シアリタリ

給養其ノ他モ一般兵ト同一ニ実施セリ

(3) 現住民使役状況

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

現住民ハ積極的ニ日本軍ニ協力シアリテ飛行場陣地構築或ハ部隊雑役夫トシテ日々二千名内外ヲ使用シアリタリ

給料ハ一般四、五十銭 特殊者(大工等)ハ一円～一円五十銭ヲ食糧トシテ一般一人當リ中米一日四〇〇瓦ノ白米或ハ「ミル」ヲ給シタリ

其ノ他奨励品トシテ布地 石鹸等ヲ労働能力ニ應ジ支給セリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

上

部隊履歴ノ概要

0744

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和十九年

一、六月二十一日 軍令陸甲第六三号ノニ依リ独立混成第五十七旅團ノ編成下令

二、八月二十五日 既ニ「メナド」ニ到着シアル基幹人員ヲ以テ旅團司令部ノ編成ヲ完結ス

旅團長 陸軍少將 遠藤新一

旅團編成要員ハ「メキシコ」丸「バーブル」丸ニ乗船「セレベス」ニ向ヒ航行中「バーブル」丸ハ機関故障ニ依リ「ホロ」島ニ滞留「メキシコ」丸ノミ目的地ヘ向フ途中八月二十九日二時五十八分頃「セレベス」海北緯一度十九分東經百二十二度十九分附近ニ於テ敵潜水艦ノ魚雷攻撃ヲ受ケ八四六名戦死ス 救助セラレタル兵員ハ八月三十一日「メナド」ニ上陸シ直チニ編成ニ着手ス

三

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

四

五

旅團長ハ在「メナド」部隊ヲ指揮シ「メナド」地區ノ警備ヲ命ゼラル

旅團司令部ノ幹部編成（編成當時）

旅團長　陸軍少將　遠藤新一

參謀　陸軍中佐　甲村武雄

副官　陸軍大尉　吉村大二

副官　陸軍少尉　島田稔

部附　陸軍少佐　廣瀬富雄

部附　陸軍中尉　市橋宗

同　陸軍主計大尉　稲垣昌大

同　陸軍主計中尉　川村忠雄

同　陸軍主計少尉　坂戸正大

同　陸軍醫大尉　弓場勉

六、九月八日　隷下部隊ノ編成ヲ完結

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨立歩兵第三七二大隊　長　陸軍少佐　相良廣遠
獨立歩兵第三七三大隊　長　陸軍少佐　中村武次
獨立歩兵第三七五大隊　長　陸軍少佐　岩本貢
獨立歩兵第三七七大隊　長　陸軍少佐　高延隆雄

以上　約二〇〇〇名

欠除部隊

獨立歩兵第三七四大隊
獨立歩兵第三七六大隊
旅團砲兵隊
旅團工兵隊
旅團通信隊

八九月十四日　旅團通信隊ノ編成完結
旅團通信隊長　陸軍中尉　田村一男
隊長以下　約一〇〇名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

九、九月二十二日　「メラウド」守備隊長（サギヘ守備隊ヲ含ム）ヲ旅團長ノ指揮下ニ入ラシメラル

十、十月十五日　獨立歩兵第三七四大隊及獨立歩兵第三七六大隊ハ「ボルネオ」守備軍ニ轉屬セシメラル

十一、十一月十三日　桂臨時工兵隊ヲ編成

金田大尉ヲ長トスル臺灣勤労團主体ノ約七〇〇名

十二、十一月二十五日　北部「セレベス」地區海軍指揮官ヲ陸上直接防衛ニ関シ指揮下ニ入ラシメラル

昭和二十年

十三、四月三十日　第二方面軍野戰貨物廠　野戰兵器廠　野戰自動車廠ノ「メナド」地區各支廠ヲ旅團司令部ニ轉屬セシメラル

以上　約三〇〇名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

十四、五月十二日　旅團ノ配備ヲ變更シ左ノ部隊（以下ノ部隊ト呼稱ス）ニ南部「セレベス」ニ轉進ヲ命ズ

独立歩兵第三七大隊

独立歩兵第三七大隊ノ一中隊

第二方面軍特設第六機関砲隊

独立守備歩兵第二十二大隊ノ二中隊

独立有線百中隊ノ一小隊

独立自動車第二九〇中隊ノ一小隊

以上約二〇〇〇名

十五、五月十二日　「メラウド」「サンギヘ」守備隊ヲ北部「セレベス」ニ移駐ヲ命ズ

十六、六月二十一日　第二方面軍復員シ新ニ第二軍司令官ノ指揮下ニ入ル

十七、六月二十二日　第二軍司令官ヨリ旅團主力ハ速カニ西南部「セレベス」

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

ニ前進ヲ命ゼラル

丈、七月十日　旅團主力ハ西南部「セレベス」ニ向ヒ前進ヲ開始ス

九、八月一日　甲村參謀ハ司令部人員約四〇名ヲ指揮シ「シンカン」司令部ニ先遣ヲ命ゼラレ「トモホン」ヲ出發

三六、八月十四日　「ポーツダム」宣言受諾ノ大詔ヲ拜ス

三七、八月十八日　一切ノ戰斗行動ノ停止ヲ命ズ　之ガ爲西南部「セレベス」ニ前進部隊ハ各ミ前進行動ヲ停止ス

三八、八月十九日　西南部「セレベス」前進部隊ハ松尾部隊ヲ除クノ原駐地復帰ヲ命ス

三三、八月二十五日　零時ヲ以テ旅團ハ其ノ作戰任務ヲ解カル

三四、八月三十日　甲村參謀一行四〇名「トモホン」ニ帰還ス

三五、九月十二日　旅團隷指揮下部隊ニ對シ武裝解除及之ガ返納ヲ命ズ

三六、九月十四日　「メナド」ニ於テ聯合軍ト現地交渉ヲ開始ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

聯合軍代表
濠洲軍「メナド」司令官 中佐 m n i r

三、九月十五日 前日ニ引續キ現地交渉

三、十月二日 濠洲軍「メナド」ニ上陸開始

三、十月十四日 日本人集結地ヲ「ビートン」ニ命ゼラレ 集結行動ヲ開始ス

三、十月廿九日 日本人「ビートン」ニ集結完了

旅團長ハ集結地ニ於ケル陸海軍及邦人全員ノ指揮ヲ命ゼラル

三、十一月一日 日本人集結地ノ直接管理ノ責任ヲ濠軍ヨリ蘭軍ニ移管セラル

三、十二月十五日 南方軍第四通信隊本部隊ヲ旅團司令部ニ転属セシメラル 隊長以下一〇一名

三、十二月二九日 甲村参謀濠洲軍司令部ニ出頭ヲ命ゼラレ「エロタイ」ニ召喚セラル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

三四、十二月三十日　旅團長濠洲軍命令ニ依リ「モロタイ」ニ召喚セラル

三五、十二月三十日　旅團長不在間　代理陸軍大佐　田村多郎

昭和二十一年

三六、四月二十三日　旅團ハ復員ニ伴ヒ「メナド」港ニ向ヒ前進ヲ開始ス

三七、五月八日　「メナド」港ニ復員船入港

三八、五月十六日　復員船「メナド」港出帆

三九、五月十七日　復員船　田辺港ニ入港

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

三 指揮隷屬關係其ノ變遷ノ概要

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

三、指揮隷屬関係其ノ他ノ變遷ノ概要

1、昭和十九年九月二十二日
「メンマド」守備隊長（第三十二師団衛生隊）（「サンギヘ」守備隊（旧独立守備歩兵第三十二大隊）ヲ合シ独立混成第五十七旅團長ノ指揮下ニ入ラシメラル

2、昭和十九年十月十五日
独立歩兵第三七四大隊及独立歩兵第三六大隊ハ「ボルネオ」守備軍ニ轉屬セシメラル

3、昭和十九年十一月二十五日
北部「セレベス」地区海軍指揮官ヲ陸上直接防衛ニ関シ独立混成第五十七旅團長ノ指揮下ニ入ラシメラル

4、昭和二十年四月三十日
第二方面軍野戰貨物廠　野戰兵器廠　野戰自動

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

車廂ノ「メナド」地区各支廂ヲ独立混成第五十七旅団司令部ニ転属セシメラル

5、昭和廿年五月十二日

左記部隊ヲ南部「セレベス」ニ前進セシメ軍司令官ノ直轄タラシム

左　記

独立歩兵第三七七大隊

独立歩兵第三七二大隊ノ一中隊

第二方面軍特設第六機関砲隊

独立守備歩兵第二十二大隊ノ二中隊

独立有線第百中隊ノ一小隊

独立自動車第二九〇中隊ノ一小隊

6、昭和廿年六月二十一日

第二方面軍復員シ新ニ第二軍司令官ノ指揮下

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

ニ入ル

7、昭和廿年十一月十五日

南方軍第四通信隊本隊ヲ独立混成第五十二旅團司令部ニ転属セシメラル

8、昭和廿年十二月三十日

独立混成第五十二旅團長「モロタイ」召喚ニ伴ヒ田村大佐旅團長ノ職務代理ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

四、作戦準備関係

1、作戦計画ノ概要
2、陣地ノ状況
3、作戦準備ニ関スル主要ナル命令ノ内容
4、軍需品ノ集積状況
（集積輸送　現地自活ノ状況）
5、訓練ノ状況（戦斗準備トシテノ）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

四 作戦準備関係

イ 作戦計画ノ概要

「防禦方針」

旅團ハ敵ノ上陸（降下）ニ對シ一部ヲ以テ拒止スルト共ニ主力ハ機動ニ依リ之ヲ逐次ニ海岸（降下地点）ニ壓迫（包圍）壊破ス

「防禦配備」

北部「セレベス」「ミナハサ」地区ハ「トンダノ」湖ヲ中心トスル火口原地帶ト之ヲ囲繞スル外輪山ニ依ツテ成形セラレ之等外輪山ヨリ海岸ニ至ル間ハ連續セル地皺ニ依ル傾斜地帶ニシテ海岸ヨリ火口原地帶ニ通ズル道路ハ僅カニ五本ニシテ何レモ両側ハ断崖ナリ

依ツテ配備ハ一部ヲ海岸上陸豫想地点ニ配置シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

敵上陸ニ際シテハ地形ノ利用ニ依リ一意之ガ前進ヲ拒止スルト共ニ道路ニハ何レモ地雷原 對戦車阻絶地帶ヲ構成シ 外輪山ノ據点陣地ト相俟ツテ逐次抵抗ニ依リ前進ヲ阻止ス而シテ主力ヲ何レモ外輪山内側地帶ニ配置シ 保有スル一台輌餘ノ自動貨車ノ利用ニ依リ火口原地帶ヨリ適宜移動ニ依リ防禦ヲ実施シ得ル如ク計画ス

2、陣地ノ状況

① 起工時期　一月中旬

所要人員　延十二万人

使用資材　主トシテ椰子樹ヲ使用シ一部岩盤地帶ニ洞窟ヲ堀穿ス

② 完成時期　三月中旬

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

強　度　輕掩蓋ヲ有スル野戰陣地程度

㋩ナシ

㋥港灣施設ハ所在海軍部隊實施シタルモ既ニ第一船ニ依リ復員セルヲ以テ不明

飛行場施設ハ別紙　原部隊ノ資料ノ如シ

3. 作戰準備ニ關スル命令

戰斗準備命令ノ概要

一、防禦方針

前記述ノ如シ

二、機動要領左ノ如シ

藤蹄　機動（以下各機動トモ同要領トス）

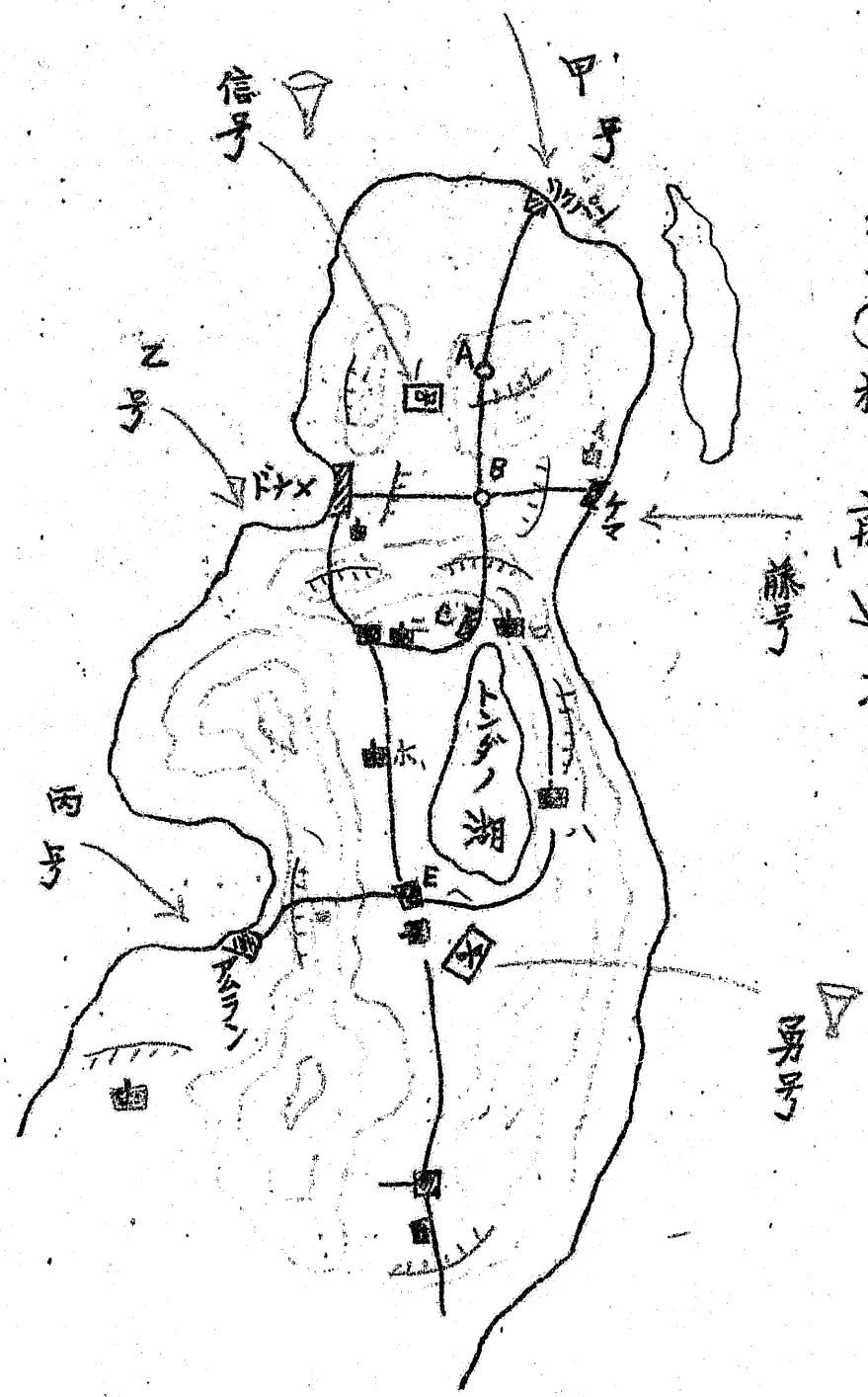
㋑部隊ハ上陸セル敵ヲ攻撃拒止

㋺部隊ハ㋑部隊ニ協力攻撃

㋩部隊ハ㋐村ニ前進

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

㊁部隊ハ㊂ー㊃道ヲ㊃村ニ前進
㊄部隊ハ㊄ー㊂道ヲ「トンダノ」湖東岸ヲ㊂村ニ前進
尓余ノ部隊ハ現任務續行
☆ハ㊂村ニ前進ス



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

六、軍需品ノ集積狀況

イ、集積輸送

「トモホン」「ソンデル」「コタモバク」「サワンガン」地區ニ分散集積

ロ、糧秣頭初集積（十九年八月）一萬人ニ對スル十六ヶ月分

逐次消費　終戰當時一万人ニ對スル四ヶ月分ヲ保有ス

ハ、被服頭初集積一万人ニ對スル概ネ二ヶ年半分更新

被服並ニ補修材料ヲ保有　逐次消費　終戰當時ハ半ヶ年分ヲ保有ス

ニ、衛生材料

頭初一万人ニ對スル概ネ十二ヶ月分保有シタレドモ「疏規」ノ如キハ僅少ニシテ現地自活ニ依リ代用品ヲ生産其ノ缺ヲ補フ　終戰當時約八ヶ月ノ衛生材料ヲ保有シ兵站病院ニ移管ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

(二)需品保有量僅少ノ總テ自活ニ依リ所要ヲ充足シ
アリタリ
2、現地自活ノ狀況(貨物廠ノ分ノミ)
十九年十一月ヨリ石鹸、味噌、正油、野菜、塵紙ノ
自活ニ着手シ終戦當時ハ概ネ自給量ノ生産量ヲ
擧ゲ得タリ
4、訓練ノ狀況
(イ)昭和十九年十月防禦計畫ニ基キ通信ヲ主体トスル旅
團幹部實設演習ヲ三日間ニ亘リ實施シ特ニ空挺
部隊攻襲法ヲ演練ス
(ロ)前項演習ニ引續キ各部隊ニ想定ニ研究課題
ヲ附與シ旅團長統裁ノ下各部隊ヨリ將校、下士官
ノ研究員及見學團ヲ選拔シ一週間ニ亘リ對戦車
攻襲ノ研究演習ヲ實施シ各種地形ニ於ケル各種

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

對戰車攻撃兵器ノ使用法攻撃法ヲ研究普及ス
之ニ伴ヒ現地資材ニ依ル攻撃資材ノ作製ヲ研究
実施ス

右ニ基キ各部隊ハ初年兵教育ヲ本教育ヲ加味シ旅
團幹部ハ又各隊ノ本訓練ヲ査閲指導セリ
又候敵警戒器ノ性能及突破法ヲ訓練ス

(ハ) 陣地構築ノ進捗ニ並行シ各隊トモ防禦戦斗機動
演習ニ重点ヲ指向シテ連日練磨ニ邁進ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

五、戦闘状況

1、～2、當地區ハ無シ

3、敵機ノ来襲状況

4、敵機ノ損害

5、落下不時着ニ對スル處置

6、敵ノ俘虜数

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

五、戦斗状況

(1)、(2)当地区ハナシ

(3)敵機ノ来襲状況

昭和19年

五月	延四〇〇	九月延一五〇〇
六月	〃三〇〇	十月〃一一〇〇
七月	〃二〇〇	十一月六〇〇
八月	一〇〇	十二月四〇〇

昭和20年

一月	八〇〇
二月	五〇〇
三月	一〇〇
四月	一〇〇

延来襲機数約六〇一〇機

機種 B24 B25 P38 BF P40 等

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

目標　飛行場　軍需品集積所及一部市街
無差別爆撃

六、敵機ノ損害
昭和十九年九月以降交戦回数約九十四
撃墜　約四十機（不確実ヲ含ム）
撃破　約九十機（〃　〃）

五、總テ現地處分ニ附シタリ
右関係者ハ既ニ處刑終了或ハ刑ニ服シアリ

七、俘虜数　十六名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

六、給與、衛生

1、給與

2、衛生

0768

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

イ 給與

終戦時迄主食ハ精米一人一日六〇〇瓦ニシテ現地調辨ニ依ル生肉生野菜ヲ使用 貨物徴発各隊ノ自活製品ヲ含メ給與ハ概シテ良好ナリ

2. 衛生

(1) 旅團ノ基幹タル隷下部隊ハ遭難漂流ヲ救助サレタル將兵ナルモ二ケ月ニシテ健康ヲ恢復セリ 海岸地帯ニ猖獗ナル「マラリヤ」ハ苦力ノ山地帯ニ帰村ト共ニ漫延シ一時到ル處「マラリヤ」地帯ノ観アル環境中ニ移動シ守備作業ニ繁忙ナル生活ヲ連續セシモ防遮徹底ニ依「マラリヤ」ニ依ル損害ヲ最小限(三、八%)ニ止メ得タリ

(2) 終戦時約九ケ月ノ衛生材料ヲ保有セシ部隊ハ一部不足ノ物アリシモ治病上支障ヲ見ズ尚直チニ現地自活

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

藥物製作研究ニ着手シ長期ノ準備ニ着手セリ

0770

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

七、終戦ヨリ歸還迄ノ行動ノ概要

0771

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

七、終戦ヨリ帰還迄ノ行動ノ概要

八月十四日「ポーツダム」宣言受諾ノ大詔ヲ拜シ八月十八日一切ノ戦斗行動ヲ停止ス

當時旅團主力ハ西南部「セレベス」ニ前進中ナリシヲ以テ反転「メナド」地區ニ集結ヲ開始ス

九月十三日 隷下指揮下部隊ノ武裝ヲ解除ス

九月十四、十五日 聯合軍代表濠洲軍「メナド」司令官 Mnir 中佐「メナド」ニ上陸シ現地交渉ヲ開始ス

十月二日濠洲軍「メナド」ニ上陸シ「トモホン」ニ進駐ス

十月十四日 日本人集結地ヲ「ビートン」ニ定メラレ集結行動ヲ開始シ同ニ十九日 約八千名及ニケ月分ノ食糧ノ「ビートン」集結ヲ完了セリ

同時旅團長ハ集結地ニ於ケル陸海軍及邦人全員ノ指

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

揮ヲ命ゼラル

十一月一日 日本人集結地ノ直接管理ヲ濠軍ヨリ蘭軍ニ移管セラル

「ビートン」集結後兵舎ノ建築等ニ依リ本格的現地自活態勢ヘ移行ニハ六月八余ヲ要セリ

食糧ハ聯合軍ヨリ主食三二一五 副食四九〇五ノ給養ヲ得タリ

十一月二十九日 田村参謀 十二月三十日 旅團長遠藤新一少將 「ロロタイ」ニ召喚セラレ 田村大佐 旅團長ノ職務ヲ代理ス

終戦當初一部ノモノニ逃亡離隊 上官暴行等ノ事故ヲ生ジタルヲ以テ軍法會議或ハ懲罰委員ニ依リ之等事故者ニ對スル取締リヲ嚴ニシタルヲ以テ全般ニ軍紀風紀ハ嚴粛ニ維持セラレタリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

現地自活ハ昭和二十一年六月以降完全ニ自活ニ依リ生存ヲ実施シ得ル如ク凡有施策ヲ実施シ予期以上ノ成果ヲ揚ゲ日本人ノ真姿ヲ具現セリ

引揚ゲ時植付完了耕地五〇〇町歩余ナリ

衛生方面亦「マラリヤ」ノ巣窟ナル「ビートン」地區ヲ見事ニ征服シ是亦豫期以上ノ衛生成績ヲ納メタリ

集結間ノ死亡者数三二名ナリ

聯合軍作業トシテハ月間四千五百人日程度ノ人員ヲ差出シ検問所作業或ハ埠頭作業等ニ従事セリ

聯合軍側ニ依リ抑留セラレアル者「モロタイ」一四〇名「マニラ」二名「メナド」ニ抑留サレシ者二六名其ノ他病院船待機ノ患者及衛生機関五五名ヲ「メナド」ニ残置シ五月六、十日輸送船二隻ニ分乗日本人七〇〇六名（内一名輸送中死亡）「インドネシヤ」人二十五名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

大マツメナドル港ヲ出發 皇土ニ帰還セリ

0775

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan